



桐生市は毎月1日、市制施行100周年を迎えた。大正、昭和、平成、令和とバトンをつないできた節目の年を市民と共に祝う。1年を通して展開する記念事業によって、次代を担う世代に郷土への愛着と誇りを持ってもらいつつ、長い歴史の中で培われた文化、ものづくりへの思いや技術を発信。次の100年に向けて新たな一歩を踏み出す。

桐生市 誕生100年。

桐生人こそ宝。これからも。



**洗練された
「粋なまち」へ**
桐生市長 荒木恵司
大正10年の市制施行から100年。
桐生市には、古くから発展してきた繊維産業が培われた高度なものづくり技術、織物工場や屋敷など、まちの発展を支えて

きた先人たちが受け継いだ宝が、まちのいたるところに存在しています。これら本物の魅力があふれる恵まれた環境で育つ「桐生人こそ宝。」
これからも桐生市は、持続可能で洗練された「粋なまち」を目指してまいります。昨年来のコロナ禍により厳しい社会情勢が続いていますが、苦境をはねのけ飛躍の契機となるような新たなスタートの年にしたいと思っています。

【フォトメッセージ募集中】 桐生市は市制施行100周年記念事業の一環として、未来に向けたフォトメッセージ(写真)を募集している。テーマは「未来にかなぎたい あなたの桐生の魅力」。地域の魅力を見つめ直し、桐生を象徴するモノ・コト・トコロや思い出など、自由な発想で桐生の魅力を伝えよう。



【「桐生100景」instagram投稿企画実施中】 桐生市は未来に残したい桐生の魅力たっぷりの写真をInstagramで募集している。市制施行100周年記念事業の一環。写真はリニューアルする市ホームページで紹介。写真テーマのジャンルは問わない。



若者定住支援プロジェクト「ぐんま愛 ここに生きる」キャンペーン協賛社

(順不同)

